

令和7年度 地盤工学会北陸支部 土質力学講座について

公益社団法人地盤工学会北陸支部

地盤工学会北陸支部では、昨年度に引き続き、若手・中堅の実務者を対象とした学びの場を提供する一環として、土質力学に関する講座を計画致しました。今回も、「土質力学講座(初級～応用レベル)」と題して、計5回の講座を実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

記

- ・日程：令和6年11月～令和6年2月 全5回開催
- ・場所：WEB 配信ツール「ZOOM ウェビナー」を活用した配信（会場での聴講はありません）
- ・参加費：会員、学生 無料 非会員 7,500 円（支払はネット決済で手数料込みです）
（オンライン決済手数料込み下記支払フォームを参照）

- 5講義分一括した参加費です。途中、何回か不参加の場合でも参加費は返却いたしません。また、途中の回からの参加でも、参加費は上記金額となりますことをご了承ください。
- 申込は、各講義の一週間前にその都度締め切ります。
（例：11月20日の講義は、11月13日までに申し込みされた方が受講できます。11月14日以降に申し込みされた方は、12月5日の講義からの受講となります）
- 各講座はCPDの加点対象となっております（G-CPD 各回1.5単位）

(1)講義内容 すべて 16:00～17:30、オンライン開催

開催日	講師	【テーマ】講座内容
令和7年 11月20日 (木)	豊田 浩史 様 (長岡技術科学 大学)	【せん断】 土のせん断挙動について、砂と粘土を比較しながら説明します。応用問題（土圧、斜面安定、支持力）における強度定数 c 、 ϕ の取り扱いに簡単に触れ、排水条件によりせん断強度が大きく変化する理由について理解を深めます。時間があれば、力学特性の異质性についても紹介します。
令和7年 12月5日 (金)	畠山 正則 様 (応用地質株式 会社)	【室内試験】 実務で対象とする地盤は非常に多様で、土質試験の試料はサンプリングによる乱れや内部応力の変化で強度が過小評価されています。この問題を解決するために、間隙水圧（サクション）の測定が有効であることや、一軸圧縮試験に代わる理想的な試験方法について紹介します。
令和7年 12月22日 (月)	古谷 元 様 (富山県立大学)	【斜面】 北陸地方をはじめ、いくつかの地すべり（斜面崩壊）の発生事例について紹介し、これらに対して行われている計測や試験を通じて、それぞれの発生機構について考えていきます。また、実測に基づいた土塊内の地下水流動に関して紹介し、今後検討すべき事項や留意点についても示します。
令和8年 1月8日 (木)	保坂 吉則 様 (新潟大学)	【液状化】 新潟地震から能登半島地震に至る様々な液状化被害がなぜ発生し、危険度をどう予測し、どう対策するかについて、液状化の発生メカニズムを軸に解説する。
令和8年 2月13日 (金)	大塚 悟 様 (新潟大学)	【複合荷重と剛基礎の支持力】 地盤の支持力はモール・クーロンの破壊基準を用いて評価されるが、寸法効果のために実務との乖離が指摘されています。そのため遠心模型試験による修正係数が提案され、各機関の基準に取り入れられるが、その有効性を数値解析により概説します。合わせて、鉛直・水平・モーメントの複合荷重に対する支持力について最新の知見を紹介します。

・

(2)概要

- ・ 申込方法

参加希望される方**全員**は下記の申し込みフォームにご記入ください。

<https://forms.gle/iYKw5MUGiZ8kkXFr9>

参加希望される方のうち、非会員の方の参加費は下記の参加費支払フォームからお支払いください。（支払はネット決済で手数料3%込みです）

https://paysys.jp/forms?form_code=4559326892840291

申込・振り込みが確認された方には、「ZOOM」入室用の URL・配布資料のダウンロード URL・CPD 受講証明書についての説明をお知らせいたします（開催 3 日前頃にメールにてお知らせする予定です）

問合せ先：（公社）地盤工学会北陸支部（事務局 佐藤）

〒950-0965 新潟市中央区新光町 10 番地 3 技術士センタービルⅡ 7F

Tel/Fax: 025-281-2125 e-mail: jgskoshi@piano.ocn.ne.jp